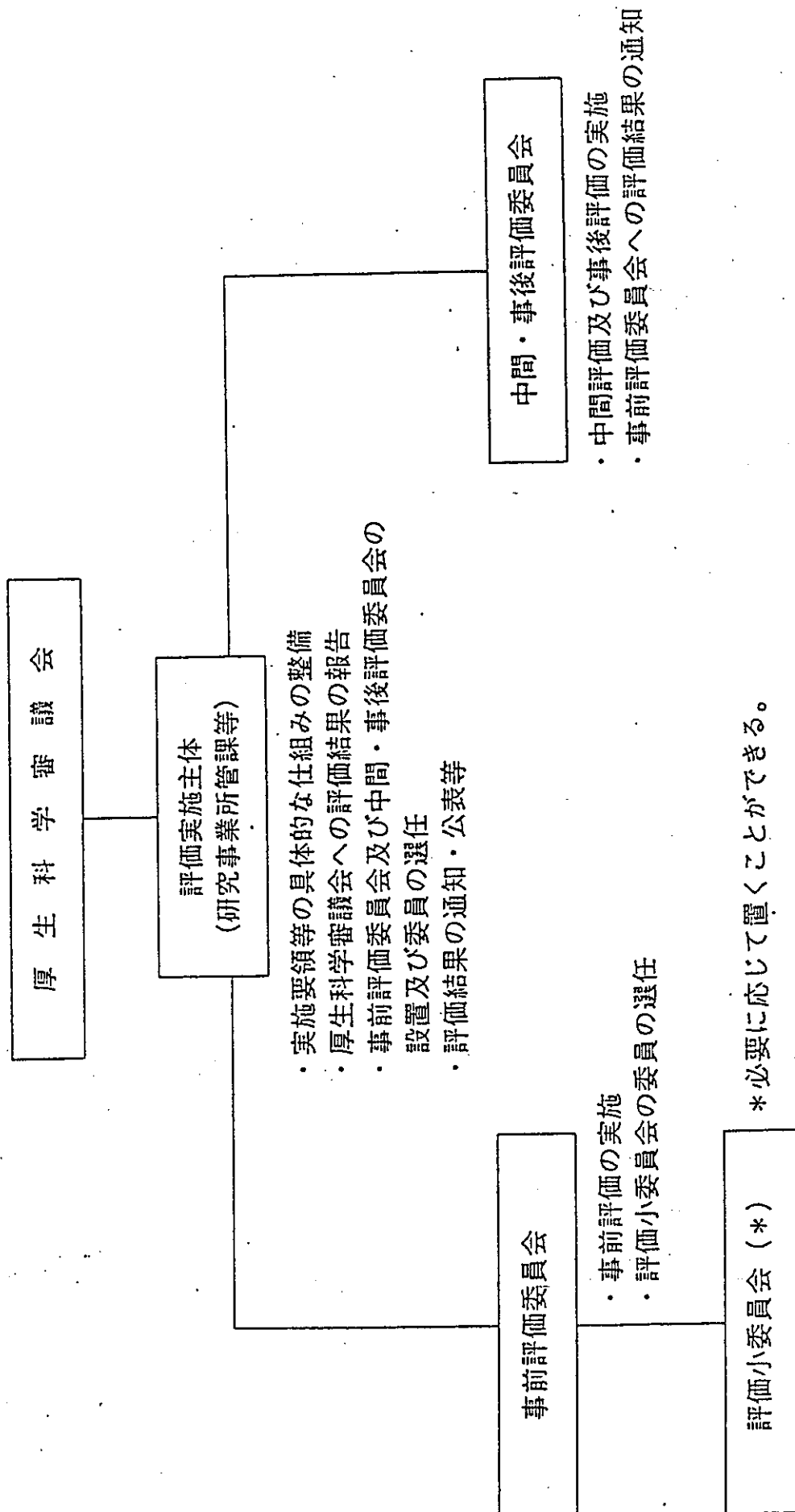


図表7 研究課題の評価の実施体制



## VI. おわりに

本研究では、①厚生科学研究費補助金における政策科学推進研究事業の位置づけを明確にし、②政策科学推進研究事業の中心である社会保障及び人口問題について今後重要と考えられる研究課題の例を整理し、③研究評価の在り方等について考察した。

①については、厚生科学研究費補助金のなかで社会保障や人口に係る諸問題について、行政的需要に対応した研究を行う事業であることを指摘し、②については現在の政策課題を踏まえ幾つかの研究課題の例を挙げるとともに、政策過程との関係を踏まえる必要があることを指摘し、③については、事前評価におけるヒアリングの活用や平成11年度に予定されている普及啓発事業等を通じて評価結果が研究者にフィードバックされる仕組みの必要性を指摘した。

なお、今後の政策科学推進研究に係る研究政策の策定においては、例えば、政策をどのように企画立案し実施にうつすかといった研究、保健医療福祉に関する総合的な情報化に関する研究、厚生行政と労働行政との接合に関する研究等、新たな行政需要にどのように対応するかという点も視野に入れる必要があることに留意する必要がある。

### (参考文献)

- 「国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針」(平成9年8月7日)
- 「政策科学の新展開」宮川公男編、東洋経済新報社
- 「政策科学入門」宮川公男、東洋経済新報社
- 「総合政策科学入門」大谷實、太田進一、真山達志編著、成文堂